

2020 年 4 月 8 日
一般社団法人日本鉄鋼連盟
標準化センター事務局

2019 年度原料規格三者委員会書面審議議事録（案）

1. 審議期間 2020 年 3 月 24 日（火）～4 月 3 日（金）

2. 審議事項：

審議 1) JIS M 8708 鉄鉱石－サンプリング，試料調製及び測定の精度を確認する実験方法（改正）の承認

審議 2) JIS M 8216 鉄鉱石－りん定量方法－モリブドリン酸青吸光光度法（改正）の承認

審議 3) JIS M 8250 鉄鉱石－分析用試料の吸湿水定量方法－重量法，カールフィッシャー滴定法及び乾燥減量法（追補）の承認

3. 委員：（敬称略）

委員長 尾島（東京理科大学）

副委員長 田中（東京理科大学）

委員 伊藤（海外貨物検査）、北野（神戸製鋼）、神野、厚東（JFE スチール）、山田（日本製鉄）、岩佐（住友商事）、矢野（双日）、稲角（東京大学）、富田（日鉄日新製鋼）、堤（日本規格協会）、大石（丸紅）、八田（三菱商事 RIM ジャパン）、滝井（三井物産）、木原（伊藤忠）

幹事 坂橋（鉄鋼連盟）

事務局 寺澤、井田、楠野（鉄鋼連盟）

なお、今回の委員で新たに交代のあったのは以下のとおりである。

新委員：滝井委員（三井物産、安藤委員から交代）

八田委員（三菱商事 RIM ジャパン、三船委員から交代）

4. 回付資料

資料 2-1 JIS M 8708 鉄鉱石－サンプリング，試料調製及び測定精度を確認する実験方法＜修正原案＞

資料 3-1 JIS M 8216 鉄鉱石－りん定量方法－モリブドリン酸青吸光光度法＜修正原案＞

資料 4-1 JIS M 8250 鉄鉱石－分析用試料の吸湿水定量方法－重量法，カールフィッシャー滴定法及び乾燥減量法（追補）＜修正原案＞

※資料番号は、当初送付した規格改正（追補）原案、資料 2,資料 3,資料 4 と区別するために付番を変更しています。

コメント集（事前に回答のあった委員への事務局対応、修正。これを元に上記修正原案を作成）

5. 審議結果

2019 年度原料規格三者委員会は、当初 3 月 24 日に対面による会議開催を予定していたが、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止に向けた政府の取り組み等に鑑み、2020 年 3 月 24 日（火）～4 月 3 日（金）の期間での書面審議に変更した。審議結果を、下記に示す。

5.1 JIS M 8708 鉄鉱石－サンプリング，試料調製及び測定の精度を確認する実験方法（改正）＜資料 2-1＞

審議結果は、賛成 14、反対 0 であり、承認された。

5.2 JIS M 8216 鉄鉱石－りん定量方法－モリブドリン酸青吸光光度法（改正）＜資料 3-1＞

審議結果は、賛成 14、反対 0 であり、承認された。

5.3 JIS M 8250 鉄鉱石－分析用試料の吸湿水定量方法－重量法，カールフィッシャー滴定法及び乾燥減量法（追補）＜資料 4-1＞

審議結果は、賛成 14、反対 0 であり、承認された。

なお、今回の原料規格三者委員会は鉄連が産業標準化法に基づく認定産業標準作成機関に認定される前の最後にあたり、この後は従来通りに JISC 金属・無機材料技術専門委員会による審査にかけられる予定である。

以上